

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	門脇 賀智志
主な担当科目	合奏特別演習①②,室内楽IⅡⅢⅣⅤⅥ,室内楽演習1Ⅱ,金管BCEH,器楽
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	レベルの違う学生の、各々に合った基礎を徹底させるようにしたい。また、入学した時のモチベーションを卒業の時まで保てるよう工夫したい。学生の自発性や自由な発想を尊重する事を忘れないようにしたい。伸び代を持った学生をどう伸ばしていくか？このことに全力をそそぎたい。
2024年の教育に関する自己評価	学生のモチベーションを高めることは実現できたと思う。また仲間意識とライバル心のバランスも取れてきたかと思う。
2024年のFD活動に関する自己評価	全体研修会では、昭和音楽大学としての教育に対する考え方を、学長、副理事長の言葉を通して確認出来た。運営上のことでも、本学の方向性を知ることが出来たことは有意義なことだった。分科会では他の教員の方々の考えを知ることができ非常に刺激になった。また、学生の皆さんが音大を選んでくれた重みを受け止めなければいけないと思った。
授業改善のために取り入れた研修内容	1 コミュニケーション技術として、自分と相手は違うという前提→相手を知ろうとする→自分の考えを相手に伝える→折り合える点を探る。2 自分が思ったこと感じたことを、絶対にそのまま伝えない。3 自分が伝えたことを相手がどう受け止めているか？→「婉曲な表現」「メタファー(例え)」→これらを考えた上で、思ったこと感じたことを相手に伝えるべき。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3350 教員名:門脇賀智志

1)アンケート結果に対する所見

実技レッスンに関しては、全員の総合的満足度が100%だったことは良かったと思うが、回答者数が1/3ということを見ると慎重に受け止めなければならないと考える。これからも、新しい情報を受け入れながら常に私自身が勉強をしなければいけないと思う。

2)要望への対応・改善方策

学生個人が何を学びたいのかを汲み取ることも大切であろう。実技試験はさし当たっての目標でも良いが、もう少し長いスパンで実力を伸ばしてあげたい。室内楽に関してはレベルに見合った指導方法も常に意識していきたい。

3)今後の課題

学生のレベル・個性を考えると単一的な指導ではなくて、個別に何が最適な方法かを考えていかなければいけないと思う。欠点だけを矯正するのではなく、得意な面も伸ばしてあげたい。また、学生によっては自己決定の機会を出来る限り提供してあげたいと思う。そのことに対して精一杯のサポートをしていきたい。

以 上